

授業に関する学生・教員交流会

1. 企画主旨

「FD」すなわち「Faculty Development」委員会では、毎年様々な取り組みのもと「大学教育の内容や方法の改善や向上を図る、組織的な取り組み」を行っている。FD 委員会のプログラムの一つである学生と教員の交流会（以下、交流会）においては、授業アンケートではあがりにくい学生からの声を聴く場となっている。

大学の授業実践を振り返る時、教員が何を教えたかではなく、学生は授業を通して何ができるようになったのかを見ていく必要がある。今年度の交流会のテーマは、「私たちはこんな授業が受けたい!」とし、学生が考える理想の授業について提案や希望を聞き取ることとした。

参加を希望する各学科の学生には、小中高校時代または大学で受けた授業の中から、自分に力がついたと思う授業に関する話題を持ってきてもらい、具体的にどのような力がついた（と学生自身が考えている）のか、なぜその授業がすぐれていた/面白かったのかを小規模なグループで語ってもらう。大学教員が思いつかなかった指導上の工夫や、学生の学習に対する本音が出てくればと考えた。「学ぶ楽しさ」について、学生と教員がクリスマスの時期に食べられている焼き菓子「シュトレン」を食しながら交流し、指導法や学び方について日頃の取り組みを振り返る機会とした。

2. 実施概要

(1) テーマおよび内容

- ① 交流会の導入として、ドイツのレストランで修行・勤務経験のある志田尾友晴シェフ（福岡市「シュタット マインツ」）による、参加者へのメッセージが紹介された。シュトレンの作り方の解説や、海外で専門分野の学びを深めるだけでなく国際交流にも力を入れたシェフの経験談は興味深かった。「学生の皆さん、卒業してもずっと何かしら勉強し続けてください!」という言葉に励まされて交流会が始まった。
- ② 「私たちはこんな授業が受けたい!」というテーマで、シュトレンを食べながらグループで意見交換をした。学科混合で着席したため、学生は互いの学科の専門的な授業内容の話を開けただけでなく、隣接領域を学ぶよさについても考えていた。
- ③ テーブルごとに話した内容を口頭発表&個人で振り返りシートに記入

(2) 実施日時および実施方法

実施日時：2024 年 12 月 17 日（火）16:20～18:00

場 所：751 教室

実施方法：対面

参加学生：各学科 2～3 名（1～4 年生対象）

参加教員：全学科の FD 委員

募集方法：教務課よりユニパで告知し、Forms にて申込み。

タイトル：「学生と教員の交流会～クリスマスのお菓子 シュトレンから始める新しい学び～」

(3) プログラム

1	開会挨拶、趣旨説明	10 分
2	グループワーク（自己紹介を含む）	50 分
3	グループ発表（各 4 分×5 グループ）	20 分
4	質疑応答	5 分
5	アンケート記入	10 分
6	閉会挨拶	5 分

(4) 参加学生およびグループ編成

- ・所属学科の異なる編成で 5 グループを編成し、各グループに教員が 2 名程度参加する。
- ・参加学生数：21 名（健康 7 名、食栄 2 名、児教 3 名、心理 4 名、文芸 2 名、社デ 3 名）

(5) 学生からの意見（各グループで出た意見を観点別にしたもの）

シラバス

- ・科目の目的がわかりにくい。シラバスの文章が自分にとってはわかりにくい。資格科目は明白だが、それ以外の科目は、目指す道を明確に箇条書き等でわかりやすく書いて欲しい。
- ・シラバスの内容と授業の内容が異なっている授業がある。

科目の特色

- ・学科間のコラボ授業を作って欲しい。刺激になり、新しい考え方が生まれる。
- ・健康、食栄での共有の学びがあると良い。
- ・他学科と一緒に受けたい。クラス分けすると同じクラスの人とばかり。コース制だと同じ授業の人のみと関わることになる。それは寂しい。（←厚労省絡みの科目の場合、人数に縛りがある旨事務局から伝え済）
- ・他学科の開放科目を増やして欲しい。
- ・健康と心理の学びのコラボがあれば良い。新しい学びに繋がる。
- ・専門を超えた学びがある良い（調理、ミュージカル、趣味の延長のような科目）。
- ・社会人としての常識を知る授業があれば良いと思う（礼儀、言葉遣い、お金、マナー）。
- ・学校現場で問題や課題を見つけて、それについて大学で学ぶ授業があると良い。
- ・教養の充実をして欲しい。

授業の工夫

- ・作ったり動いたり実践の多い授業は記憶に残りやすい（眠くならない）。
- ・臨地経験が豊富な先生で講義授業が上手な先生もいる。そのような授業は眠くならない。
- ・授業に集中できる環境づくりを求める。集中できていない学生もいる。
- ・授業にて教員からのハラスメント発言があった。学生も教員も（時代に合わせて）アップデートが必要。
- ・授業方法について、双方向・アクティブラーニングの多い学科と少ない学科がある。

その他

- ・楽しくなくても役立つ授業であれば良い（目的や目標があれば）。
- ・（食采の学生より）健康の実習が多いことに驚いた。
- ・介護分野は1年から実習が多いことに驚いた。実習前に学びたい授業もある。
- ・養護教諭のアレルギーの授業は、ゲストティーチャーだけでなく回数を増やして欲しい。
- ・時間割について、曜日時限に偏りがある（授業の多い時間帯、空きコマの時間帯の差あり）。

⑥事後アンケート

学生（回答 21 名）

○交流会の参加について

参加してよかった	21 名
----------	------

○同じグループの学生教員に意見を伝えられたか

伝えられた	10
まあ伝えられた	11

○今後も実施したほうが良いと思うか

実施したほうがよい	21
-----------	----

○自由記述

他学科の方の授業の様子や意見を聞けて楽しかった。
美味しいものを食べながら他学科の生徒とコミュニケーションをとることができてよかった。本校は女子大なので、性別の壁がゼロであるため、学科を超えたコミュニケーションはとりやすいと思う。解放科目が増えたら、卒業時の単位不足の解消や新しい学びを得ることができるのかなと思う。
他学科のお話を聞くことによって自分の学科の情報だけではなく他学科の話も聞くことが出来、似たような名前の授業でもやっている内容が異なったりすることがあり違いをしれて面白かったです。
シュトレン美味しかったです。いろんな話ができただけは良かったのですが、先生がたくさん話してくださった関係で、討論にはならなかったようにも感じました。そのため、学生がもう少し話す時間があったら良かったです。
似た学科だけでなく、全く異なる内容を扱っている授業も選択できるよう日程を調整して、生徒一人一人の興味・関心に寄り添った設計にしていただけると嬉しいなと思いました
他の学科の方のお話や先生方のお話を聞くことができ、新たな発見や考え方をするきっかけとなりました。とても楽しかったです。
結構形式ばった内容で、最後に発表とかがあると意識しちゃってなかなか話を無理やりまとめて話してしまうので、もう少しフランクに始まって、より自由な感じであるとより良かったと思った。
他学科の話が聞けたのは、すごく良かった。他学科とのつながりは本当にないために、このような貴重な機会は大切だと思った。資格を取るにしても、内容が似ているものもあれば全く違うこととあるので、そういった話を聞けるのはとても良かった。

他学科との交流によって、自分には無い視点の話が聞けてよかった。 集中講義や選択科目などの場を活用して、養護教諭の模擬授業(保健)と保健体育教諭の模擬授業(保健体育)を合同で行い違う視点の授業を見てみたいと思いました。
他の学科さんの授業の様子や、みんな同い年だったから悩みとかも話せて楽しかったです。 私も将来は学校関係のお仕事につきたいと考えているので、どんな授業なら楽しく学びに繋がるのかのヒントにしたいと思いました。 シュトレン美味しかったです！ありがとうございました☆
交流会を終えて、本学全体を通じて「マナー講習会」や「他言語」への講義を広めていただければと思います。「マナー講習会」では例えば授業時に帽子を被ることや言葉遣いなどまだまだ課題点があると感じているためその点で改善していければと思いました。「他言語」では韓国語やドイツ語などを学べたらより良いと感じました。
シュトレン美味しかった。他学科の人と関わることは今までなかったので貴重な話を聞けてよかったです。
児教の学生が各々の学校に出向いてインターンシップをすることが多いが、先生と児童の関係だけでは実態把握をすることは難しいため、小学生を対象に大学生と交流をする機会を設けるのはどうかと思った。
シュトレン美味しかったです。資格を取ったら単位を取れる授業を増やして欲しいです。他学科の生徒さんや先生と話せて興味が湧いたし面白かった。
他学科の方との交流ができとても楽しかったです。 これから先、どんどん他学科の方との関わりが増えたら嬉しいです。
授業か休み時間か分からないくらい楽しい授業を。社会に出た時に他職種との連携が必要になる場面が、多いと考えるため他学科との関わりができる授業ができるとより学びに繋がるのではないかと考えました。 他学科の学生さん教授の方とお話はとても興味深いものが多く有意義な時間となりました。このような会を開いて下さりありがとうございました。
他学部さんの普段の学びを知れてより深くお話を伺いたいと思った。今回は食物栄養学科さんでしたが是非とも次回は教育学科さんとの会談も出来ればと思った。
人生で初めてシュトレンをいただきながら有意義な時間が過ごせていたと感じる。これからの授業の取り組みに対しての意識を改めただけでなく、他学科の優秀な学生から良い影響を受けた良い機会だったと感じる。
他学科の学生や先生と話す機会もありつつ、自学科の人とも同じグループだった為人見知りせず話しやすかった。自学科の状況のありがたみを知りつつ、他学科のことも聞けて嬉しかったと思う。 将来に向けての授業が増えたらいいなと感じた。 シュトレン美味しかったです、来年は立食パーティとかいかがでしょうか。
他学科の学生と先生とで話す機会が今までになかったので、この機会を通して交流することができてとても嬉しかったです。シュトレンもとても美味しく、すごく楽しかったです！

他学科との交流を通して、他学科の学びなどを知れたのでとても良い交流になりました。また、教職関係の情報を得られたので良かったです！

他学科の教員と学生さんと授業や学校生活について話す機会が欲しくてもなかなかないので、とてもいい刺激になったし、意見を受け止めてくれて安心したし楽しかったです。また参加したいです。久保田先生お誘いありがとうございます！嬉しかったです。

教員回答（9名）

○本日の交流会の参加について

有意義だった	9名
--------	----

○学生の直接的な声を聞くことはできましたか

できた	8名
ある程度できた	1名

○学生との交流会の主旨は、授業評価アンケートで拾いきれない声を引き出すことですが、交流会は今後も実施した方が良いと思いますか

実施したほうがよい	9名
-----------	----

○今後の交流会のテーマ（学生から話を聞きたいか）や、交流会の話し合い結果を学内で共有する方法など、次回開催に向けてのアイデアがありましたらご記入ください。

他学科と自分の所属学科の両方の意見聞けてとても良かったです。今回のようなグループ分けは良いと思った。
学園生活を有意義にする為にはどうしたら良いかなど学科をこえた授業がもとめられている傾向が大きいので、共通科目について話し合う場などで意見を共有できるとよいのでは、と感じた。
広報委員会などを通じて、交流会の様子や出た意見を示すと良いと思います。この交流会が有意義であることを、もっと具体的に示せると良いと思います。
ホームページからアクセスしてもらえようにするのも良いかなと思いました。
現在、様々なレベルでカリキュラム改編が進んでいるので、今回挙げた学生の意見をどこかで共有できるとよいと思いました。
学生の言葉を教職員の全ての人たちに知らせたら良いと思います。それぐらい学生さんの考えから学ぶことが多かったです。

○ご意見・ご感想・改善点などがありましたらご記入ください

どうもありがとうございました！
もっと学科を跨いだグループワークが出来ると良いと思います。
食べ物があると話しやすく、個別の話が出てきやすかったのはよかったと思う。
他学科の方の授業に関する要望をうかがって、自分の授業改善に繋がられると感じました。
他学科の学生と授業で関わる機会がないため非常に楽しく参加させていただきました。
授業のフリートークがあっても、よいとおもいました。

シュトレンを美味しくいただくことができました。

私たちが思っている以上に、まだまだ教職員が学生が学びたくなる環境づくりに、努力して行かなければならないと思いました。とても有意義でした。シュトレンは大変美味しかったです。



3. まとめ

今回は、2つの学科の学生を複数人配置した五つのグループでのグループワークとなった。話が進みにくい場合は、グループに入った教員が、ファシリテーターになることも事前に申し合わせていたが、学生たちは主体的に話を進めていき、その必要はなかった。

21名の学生が参加してくれたが、参加がなかった学科もあったため、すべての学科が交流会で活発な意見交換をするために、参加学生を増やす工夫が必要である。

他学科の学生や教員との交流により、学生たちが互いにどのような学びをしているのかを知る機会となったことは、良かった。学生たちのコメントから、他学科の学生たちと交流できる授業を望んでいることがわかった。

教員の立場からは、学科によって様々な授業方法があることが分かった。学びの内容によっての違いはあるものの、これからの教育を考えるにあたって、参考になる点があったと考える。

今後もこうした交流会を重ねて、より良い学びの場の実現につなげていきたいと考える。今回参加してくれた学生たちが、次年度ファシリテーターとして参加し、新たな参加者と交流しながら授業について交流する会とするのもよいかもしれない。